

【開館時間】

9:30—17:30

特別展開催中の金曜日は9:30—20:00
ただし、7月21日、28日、8月4日、11日、18日、25日は、9:30—21:00

※いずれも入館は、閉館時間の30分前まで

【休室日】

特別展・企画展

月曜日

ただし、2017年3月27日、5月1日、8月14日は開室

上記以外の展覧会

第1、第3月曜日

※いずれも月曜日が祝日・振替休日の場合は開室し、
翌日休室

【全館休館日】

第1、第3月曜日

(月曜日が祝日・振替休日の場合は開室し、翌日休室)

ただし、2017年5月1日は開館
整備休館：2017年7月9日—16日、12月25日、
2018年1月11日—18日
年末年始：2017年12月31日—2018年1月1日

※最新情報及び公募団体等による展覧会スケジュールは、
当館ウェブサイトをご覧ください。

施設のご案内

美術情報室(交流棟1F)

10:00—17:00 (整備休室があります)

佐藤慶太郎記念 アートラウンジ(中央棟1F)

9:30—17:30

※館内にはレストラン、カフェのほか、託児サービスもあります。詳細は、当館ウェブサイトをご覧ください。
入館は無料です。観覧料は展覧会ごとに異なります。

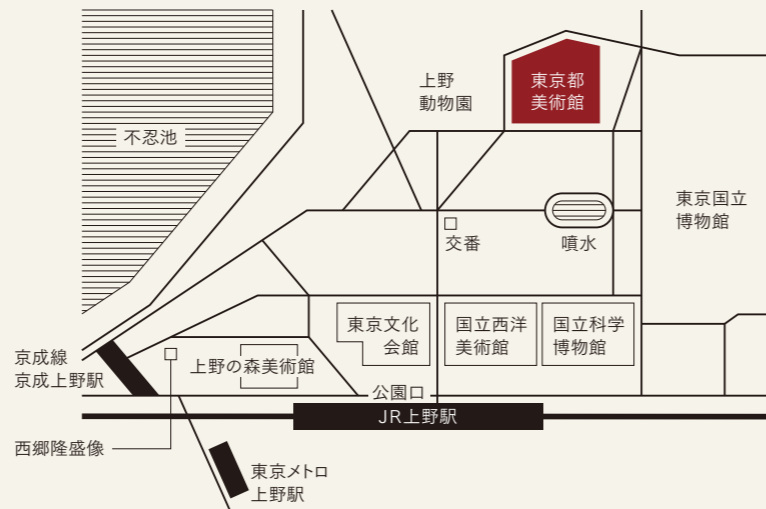
アクセス

東京都美術館 〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36 Tel.03-3823-6921 Fax.03-3823-6920
公式ウェブサイト <http://www.tobikan.jp> [tobikan.jp](https://www.tobikan.jp) TokyoMetropolitanArtMuseum

【最寄り駅からの所要時間】

- JR上野駅「公園口」より徒歩7分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅「7番出口」より徒歩10分
- 京成線京成上野駅より徒歩10分

※当館には駐車場はございませんので、車での来館の際はご注意ください。



2017/4—2018/3

東京都美術館 展覧会カレンダー

TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM EXHIBITIONS CALENDAR

特別展

ボイマンス美術館所蔵 ブリューゲル「バベルの塔」展 16世紀ネーデルラントの至宝—ポスを越えて—

2017 4/18—7/2

Collection of Museum Boijmans Van Beuningen Bruegel's "The Tower of Babel" and Great 16th Century Masters



2017年4月18日(火)—7月2日(日)

副題に「16世紀ネーデルラントの至宝—ポスを越えて—」とある通り、ブリューゲルのみならず、彼が手本とした先駆者ヒエロニムス・ポスの油彩2点、そして彼らが生きた時代である16世紀ネーデルラントの絵画、版画、彫刻を全体で約90点の出品作でご紹介します。迫真の写実と輝くような美しい色彩が印象的な油彩絵画、ポス風の怪物モチーフが、所狭しと描かれる版画作品、そして木彫の粋を尽くした彫刻作品など、16世紀ネーデルラント美術の精華をご覧いただけます。

ピーテル・ブリューゲル1世《バベルの塔》
1568年頃 油彩、板
Museum Boijmans Van Beuningen,
Rotterdam, the Netherlands

第6回 都美セレクション グループ展

2017 6/9—7/6

Group Show of Contemporary Artists 2017



2017年6月9日(金)—7月6日(木)

従来の発想にとらわれない新しい表現を追求する現代作家たちの創作活動の支援を目的とし、東京都美術館の展示空間だからこそ実現可能な、グループによる展覧会企画を公募し実施します。平成29年度は、審査により選出した6グループの展覧会を実施します。

「センシュアス・ストラクチャーズ—官能的な構造のために—」(第4回 都美セレクション グループ展)会場風景 撮影：ただ(ゆかい)

1 精神の(北)へ—かすかな共振をとらえて— Spirit of "North:" Sensing Faint Resonances



2017年6月9日(金)—6月18日(日)

[グループ名] 精神の(北)へ vol.7

丸山芳子《わかり合うということ》2006年
撮影：丸山常生

4 切断芸術運動というシミュレーション・アート展 The Disconnection-Art Movement: An Exhibition of Simulation-Art

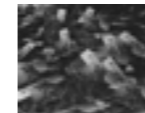


2017年6月25日(日)—7月6日(木)

[グループ名] 切断芸術運動

波多正木《砂漠にて—切断》2015年

2 海のプロセス - 言葉をめぐる地図 Process of the Sea - Words' Atlas

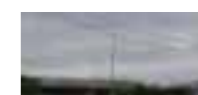


2017年6月9日(金)—6月18日(日)

[グループ名] エステティック・ライフ+

井川淳子《バベル》2010年

5 エピクロスの空き地 A space for 'encounter'



2017年6月25日(日)—7月6日(木)

[グループ名] エピクロスの空き地

新関淳《周囲の事情は変わらない》2016年

3 新章風景 #2 -現代における風景写真の在り方- New Chapter of Landscape #2 -The Principles of Contemporary Landscape Photography-



2017年6月9日(金)—6月18日(日)

[グループ名] 新章風景

福岡幸平《maps》2016年

6 境界を跨ぐと、 To the other side of the boundaries,



2017年6月25日(日)—7月6日(木)

[グループ名] 突然、目の前がひらけて制作委員会

灰原千晶、李晶玉《区画壁を跨ぐ橋のフローイング》
2015年

特別展

ボストン美術館の至宝展
東西の名品、珠玉のコレクション

Great Collectors: Masterpieces from the Museum of Fine Arts, Boston

2017 7/20-10/9



2017年7月20日(木)–10月9日(月・祝)

世界有数の規模と質を誇るボストン美術館のコレクションは、国や政府機関の経済的援助を受けず、ボストン市民、個人コレクターや企業とともに築かれています。本展では、美術館を支えてきた数々のコレクターの物語に光を当てながら、

発掘調査隊の成果を含む古代エジプト美術から、歌麿や蕭白らによる日本・中国美術の名品、ボストン市民の愛したモネやファン・ゴッホを含むフランス絵画のほか、現代美術までを選びすぐりの80点をご紹介します。

喜多川歌麿《三味線を弾く美人図》(部分)
1804-06年頃 絹本着色 Fenollosa-Weld Collection, 11.4642
Photograph © 2017 Museum of Fine Arts, Boston

企画展

杉戸洋展

Hiroshi Sugito

2017 7/25-10/9



2017年7月25日(火)–10月9日(月・祝)

木、家、カーテンなどのシンプルなモチーフ、幾何学的なカタチ。繊細に、あるいはリズムカルにおかれた色彩。抽象と具象の間を行き来するような杉戸洋(1970-)の作品は国内外で多くの人を魅了してきました。

した。本展は東京の美術館で初めてとなる個展です。独特の質感をもつ壁や床により構成された、地下に広がる吹き抜けのギャラリーの空間で、杉戸洋の最新作との出会いをお楽しみください。

杉戸洋《月光荘のいろ》2016年 水彩 作家蔵

特別展

ゴッホ展 巡りゆく日本の夢

Van Gogh and Japan

2017 10/24-2018 1/8



2017年10月24日(火)–2018年1月8日(月・祝)

フィンセント・ファン・ゴッホ(1853-1890)は、パリ時代とアルル時代に、浮世絵や日本に関する文献を集め、日本に高い関心を寄せていました。一方で、ファン・ゴッホの死後、日本の芸術家や知識人がこの画家に憧れ、墓のあるフランス

のオーヴェールを巡礼したことが明らかになりました。本展は、ファン・ゴッホの油彩画やデッサン、関連資料などを通して、ファン・ゴッホと日本の相互関係を探り、その新たな魅力を紹介します。

フィンセント・ファン・ゴッホ《種まく人》
1888年 油彩、カンヴァス アムステルダム、ファン・ゴッホ美術館
© Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation)

2017 4 APR.

5 MAY

6 JUN.

7 JUL.

8 AUG.

9 SEP.

10 OCT.

11 NOV.

12 DEC.

2018 1 JAN.

2 FEB.

3 MAR.

上野アーティストプロジェクト「現代の写実—映像を超えて」

Ueno Artist Project: "Contemporary Realism—Transcending the Photograph and Videos"

2017 11/17-2018 1/6



塩谷亮《晩春近江》2016年 油彩、カンヴァス 個人蔵

2017年11月17日(金)–2018年1月6日(土)

東京都美術館、東京藝術大学などがある「上野」は、多くの芸術家がある芸術家のメッカです。なかでも「公募展のふるさと」とも言われる東京都美術館は、様々な芸術家の発表と成長の場として大きな役割を果してきました。その歴史の継承と未来への発展のために、一定のテーマを決めて、現在公募団体を活躍している現代作家を紹介する

シリーズ「上野アーティストプロジェクト」を開催します。第1回のテーマは「現代の写実—映像を超えて」です。都市の看板や大型スクリーン、そしてテレビやスマホなどを通して写真やビデオの映像情報がめまぐるしく氾濫する現代社会の中で、絵画でしかできない「現代の写実」を真摯に追及する画家たち9人を紹介します。

「東京都現代美術館所蔵 近代の写実展」

From the MOT Collection: "Modern Realism"

2017 11/17-2018 1/6



2017年11月17日(金)–2018年1月6日(土)

東京都現代美術館所蔵品の中から、明治、大正、昭和の写実的洋画を紹介いたします。明治洋画の先駆者本多錦吉郎による精緻な油彩表現、大正期の洋画グループ「草土社」の一員だった河野通勢による細密な油彩とデッサン、さらに昭和前期の人々の暮らしと社会の様相

をヒューマニズムに満ちたまなざしで描き出した池部鈞と吉井忠、そして穏健な写実による画風で知られる牧野虎雄など。明治、大正、昭和の美術と公募団体を支えた洋画家を中心に展示して、写実絵画の近代を紹介する展覧会です。

左/河野通勢《自画像2》1917年 インク、紙 東京都現代美術館
右/河野通勢《柏の葉》1917年 水彩、紙 東京都現代美術館

特別展

ブリューゲルの世紀展(仮称)

The Bruegel Dynasty (tentative)

2018 1/23-4/1



2018年1月23日(火)–4月1日(日)

16世紀フランドルを代表する画家、ピーテル・ブリューゲル1世に始まり、5世代、150年にわたって画家を生み出した、ブリューゲル一族。その系譜を辿りながら、一族の画家たちが手がけた風景画、風俗

画、花の静物画などを通して、フランドル絵画の魅力に光をあてます。本展は通常見ることができない個人所蔵の絵画など約100点により構成されます。

ヤン・ブリューゲル1世、ヤン・ブリューゲル2世
《机上の花瓶に入ったチューリップと薔薇》
1615-20年頃 油彩、板 個人蔵(チュエリヒ)